

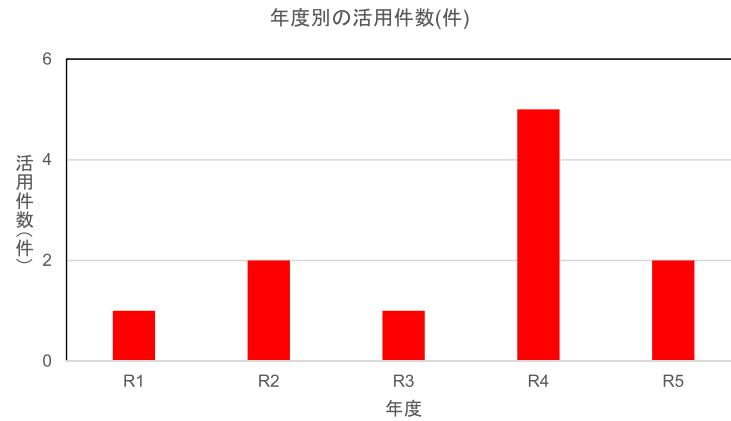
# 県内における新技術の 取り組みについて

熊本県土木部

## 目次

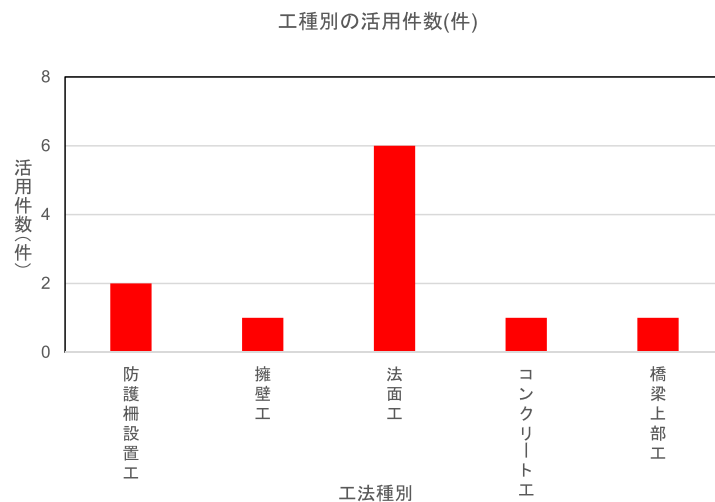
- 1 NETIS技術の活用について
- 2 活用促進支援について
  - ・登録技術
  - ・実施要領

# 1 NETIS技術の活用について



NETIS技術(国土交通省九州技術事務所からの歩掛支援の件数)の活用件数は、過去5カ年では1件から5件である。

1



工種別のNETIS技術の活用件数は、過去5カ年では「法面工」が最も多い。

2

## 2 活用促進支援について

熊本県土木部では、「新技術・新工法活用促進支援実施要領(平成23年4月1日施行)」を作成し活用促進支援について運用している。

これまでに登録した新技術・新工法は37件。

令和5年(2023年)10月末現在では、8件の新技術・新工法が登録されている。

3

### (登録技術について)

	登録技術(工法名)	NETIS登録番号	分類
1	クサデナーズ	QS-170003-A	道路維持修繕工-道路除草工
2	ブリッジガード	QS-190019-A	橋梁上部工-橋面防水工
3	MMジョイントDS型 (EQM-J工法)	QS-180019-A	橋梁上部工- 橋梁用伸縮継手装置設置工
4	ゴム劣化取替工法	QS-180049-A	橋梁上部工- 橋梁用伸縮継手装置設置工
5	ジョイント「繫」	QS-180020-A	橋梁上部工-その他
6	タケミックスソイル緑化工法	QS-190039-A	共通工-法面工-植生工
7	バスク工法wide	QS-180015-A	共通工-法面工-吹付工
8	枝管設置時の排水浄化装置 「洗菅クン」	QS-220008-A	上水道工-送配水工

(R5.10.31現在)

4

# (登録技術について)

**1**

緑石 水 種子 2%

アスファルト混合物の場合、端部は空隙が生じやすい。そのため雨水や雑草種子の混入を防ぐことはできない。

**2**

＜未処理のAs舗装端部断面＞

緑石 水 2%

アスファルト混合物の場合、舗装時のAs混合物の温度低下等により隙間が生じ、水の通り道を形成しやすい。道路橋において防水層の上部に漏水した場合、舗装との接着不良を招き路面の変位・クラックなどの損傷に繋がる。

**4**

**3**

緑石 2% トップコート レベリング アスコン

レベリング材はアスファルト合材の性状にあったリサイクル可能な流動性の高い材料です。トップコート材は水性ナノR-IT塗料でMMA樹脂以上の耐久性、弾力性がある環境に優しい水性塗料を使用しています。

＜処理後の断面＞

緑石 水 2% トップコート レベリング アスコン

レベリング材はアスファルト合材の性状にあったリサイクル可能な流動性の高い材料です。トップコート材は水性ナノR-IT塗料でMMA樹脂以上の耐久性、弾力性がある環境に優しい水性塗料を使用しています。

チッピング後 プライマー及び バインダー塗布

W H

修繕又は 後打ちコンクリート

修繕又は 後打ちコンクリート

# (登録技術について)

**5**

ジョイント部

地盤部

伸縮装置

舗装部

ネオプレンゴム

特殊スポンジ

**6**

植生基材吹付工 (t=4cm)

種子 生育基材【タケミックスソイル】

- 【綿状竹短繊維】 70%
- 【広葉樹パルク】 30%

『タケミックスソイル緑化工法』  
適用範囲：吹付厚さt=3-10cm  
法面勾配 1：0.5より緩斜面  
法高 法面垂直高さ80m以下

**7**

- ①法面洗浄工A (高圧洗浄・25MPa)
- ②クラック検出工 (U字形カット幅10mm×深さ15mm)
- ③クラック補修工 (拡張部下地処理+中詰)
- ④法面洗浄工B (高圧洗浄・25MPa)
- ⑤表面下地処理工 (スーパーバンド吹付)
- ⑥表面被覆処理工 (バスク吹付・t=2mm)

地山

既設モルタル

既設金網

処理クラック(幅1.0mm以上)

未処理クラック(幅1.0mm未満)

**8**

穿孔機械

水涵管

浄化された排水

本装置

排出水をホースにて本装置に接続

※背面に空洞がある場合は、必要により背面処理を行う。

## (目的)

県内の企業等が開発した「新技術・新工法」(以下、「新技術」という。)を積極的に活用ならびに普及させることにより、新技術の開発促進、公共工事の品質確保、コスト縮減等を図ることと併せ県内企業の支援を図ることを目的とする。

7

## (新技術の定義)

- 実用化されている公共工事等に関する技術。
- 従来技術に比べ活用の効果が同程度以上又は同程度以上と見込まれる技術。
- 新技術情報提供システム(NETIS)に評価情報又は申請情報として掲載されている技術。

8

## (対象技術)

- 前項に定義された新技術のうち、次の各号いずれかに該当するものとし、県土木部発注工事において使用可能な新技術
  - (1) 県内に本社がある企業並びに県内の大学が開発した新技術
  - (2) 県内の工場で製造している製品等

9

## (新技術の区分・分野)

- 新技術の区分及び分野は以下とする。

(区分) 工法、機械、材料、製品、その他

(分野) 工程、品質・出来形、経済性、安全性、施工性、耐久性、環境、県産資材活用

10

## (申請者)

- 本制度に登録申請することができる者は、**次の各号すべてに該当**する者とする。
  - (1) 新技術の**技術開発者**又は技術行使権原を有するもの
  - (2) **県内**に本社、製造工場のいずれかがある企業等の法人

11

## (新技術の登録申請手続)

- 登録申請のために必要な資料等(以下、「登録申請書類」という。)については、県ホームページに掲載する。
- 登録申請の受付は随時(土、日、祝祭日を除く)勤務時間内において行う。
- 受付は、土木部土木技術管理課で行う。

## (審査)

- 登録申請された新技術の審査は、別途定める「新技術・新工法審査委員会」(以下、「委員会」という。)が行うものとする。
- 審査結果は『登録可』又は『登録不可』に区分するものとする。
- 前項により区分を行ったときは、申請者にその旨を速やかに通知するものとする。
- 審査は原則として年2回(上下半期)開催する。

12

## (活用・普及に向けた取組)

- 活用に向けた取組

県土木部事業の実施にあたっては、登録情報を検索・閲覧することにより新技術の活用可能性を検討し、なかでもNETIS登録において指定区分が「活用促進技術(設計比較対象技術)」等有用な新技術については設計業務委託において工法検討を行う際に必ず比較検討工法に加えるものとする。

- 普及に向けた取組

(1) 登録情報を県ホームページ\*)に掲載する。

(2) 県が主催又は参加する研修会等において適宜、登録情報についての情報提供を行う。

\* ) <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/100/165488.html>

## (申請情報の登録・管理)

- 申請情報の登録・管理は土木技術管理課が行う。

- 登録期間は原則として翌年度の4月1日からNETIS掲載が終了する当該年度末までとし、同一技術の再登録は認めない(NETIS掲載期間は原則10年)。改善技術でNETIS登録番号が新たに付与された技術についてはこの限りでない。



(問合せ先)

熊本県土木部土木技術管理課

TEL:096-333-2491

mail:dogikanri@pref.kumamoto.lg.jp